

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室きらり戸田校			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 2日 ～ 2025年 12月 20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52	(回答者数)	44
○従業者評価実施期間	2025年12月 2日 ～ 2025年 12月 20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 7日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	機能訓練指導員や児童支援に対する専門支援の充実。	作業療法の観点を用いた粗大運動や、マットやバランスストーン、タオル等を使用した支援を取り入れています。	より専門性を活かし、課題や困りごとに様々な角度からアプローチできるよう支援に努める。
2	教室の特性に合わせた環境設定。	人数や、こどもの特性に合わせた机の配置やパーテーションの位置を変えて、粗大運動ができるスペースを確保しています。	今後、こどもが集中して支援に取り組むことができるような補助器具の足台を増やすなど、よりよい環境調整に努める。
3	相談支援体制、連携機関体制ができていること。	フィードバック時には話しきれないことや、学校やご家庭の困りごとなど別途で面談の時間を取って対応しています。	相談や面談をもっと利用していただき、ご家族の不安感の軽減につながるよう、保護者の方々にも改めて周知をしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	小集団イベントについての設定と周知。	イベントには参加してくれている利用者が多いが、周知時期の遅さから参加できない方もいる。	イベントをより早期に設定し、周知を早めます。
2	教室の狭さによる教材配置や支援方法。	工夫はしているものの、教室は狭く、隣のブースとの音が支援の妨げになってしまうこともある。場所に限りがあるので、支援方法も工夫が必要。	狭さを活かしつつ、お家でも活かせる療育という観点で支援を進め、場所や環境に制限があってもよりよくできる支援方法を検討していきます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室きらり戸田校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 52

回収数 44

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	32	9	2	1	座学のスペースは確保されています。動き回れるようなスペースは少ないかもしれませんが。	粗大運動ができるようにバーテーションや机の移動などを考慮し、スペース確保に努めています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	40	1	0	3	・担当の先生以外にも話を聞いていただける先生がいっぱいなので、手厚くて良いと思います。 ・合わない職員がいる場合についての変更が難しい。	・引き続きコミュニケーションを密に取れたらと考えております。 ・安定した支援や対応に関して職員間で徹底していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	36	5	1	2	部屋形（仕切りの位置）の変更後も、子は受け入れている。	・変更を受け入れて下さっていてよかったです。今後もよりよい環境設定に努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	40	2	2	0	・電気がチカチカしているのが気になる。 ・空間とは違いますが、学習環境との意味で、タブレットを使用する宿題もある為、Wifi環境整えて欲しいです。	・蛍光灯に関しては職員間でも気づいたら変えるようにはしているのですが、支援に差支えないよう早急に対応をしていきます。 ・wi-fiの使用は通信環境の設備や情報システムの兼ね合いもあるため、会社で検討させていただければと思います。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	39	5	0	0	・先生方が本当に子供のことを理解してくださっていて、毎回ありがたく感じている。 ・計画書の方針次第なのかも知れませんが、専門性がどうかと聞かれるとよく分からないです。 ・職員によって支援のレベルが違う	・こちらこそありがたいお言葉を頂けて嬉しいです。より邁進してまいります。 ・貴重なご意見ありがとうございます。支援の質や専門性に関しては、指導員一同、改めて支援体制や支援を校舎全体で見直し、より安定した療育支援を行えるようにしていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	41	0	0	3		支援プログラムの内容の周知を進めていきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	41	2	1	0	放デイでは、主に学校の宿題などの学習をする事が多いですが、学習だけではなく、発達障害の子の苦手とする手先をつかった微細運動や身体バランスをより良くする運動などをもっと取り入れてほしいです。	きらりでできる微細運動や粗大運動を取り入れていくことと、ご家庭でもできるようなものが提案できるよう指導員間で話し合い、支援に活かしていけたらと思います。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	37	3	0	4		それぞれの項目に対して、具体的な支援内容を設定し、実施できるようにしていきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	43	0	0	1		計画に沿った支援が行えるよう対応していきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	32	9	0	3	・長く通っていても、その時の子に合った支援内容を提案していただけている。 ・入ったばかりなのでわからない	・今後もその時の状況を考えて丁寧な対応を心がけていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	5	18	17	・放デイの中のプログラムとして、児童館との交流や、利用者のこども同士が共に活動する機会を増やして欲しいです。 ・とくに交流は求めています。	・児童館等の他施設との交流は行っておりませんが、利用者同士での交流ができる小集団も月に1回～2回で開催していますので、ぜひご参加下さい。
保	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	44	0	0	0	・先生に準備していただいたのに、子どもの気分でやらなかったプリントのコピー代が請求されているのは、なんだか勿体ない気持ちになります。	・貴重なご意見ありがとうございます。プリントや教材に関しては、こどもたちのペースや状況に応じつつこなせる量を調整していきたいと思います。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	44	0	0	0		継続していきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	33	1	5	5		家族支援プログラムの一環としてママカフェの開催を行っておりますのでぜひご参加下さい。他にも市で行われる相談会などの情報も随時、校舎内に掲示させていただきまますので、ご確認下さい。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	42	2	0	0	・毎回のフィードバックが大変ありがたい。ただ、先生方が「お母さま」と呼んでくださるが、気を遣わせて申し訳ないので、普通に「お母さん」「○○さん」とさん付けが良いと思います。 ・フィードバックの時間の長さによりますが、学校や家庭での状況をお伝えして聞してくれる先生もいます。基本的には日常のことをお話ししないので、先生方と共有出来ているとは思いません。	・職員間でも検討させていただき、呼び方も「お母さん」「○○さん」で統一させていただきます。ご意見ありがとうございます。 ・フィードバックの限られた時間内の中でも、支援の様子やご家庭の様子、また学校での様子に関してヒアリングできればと思いますが、モニタリングやアセスメントも合わせてしっかりと共有できるよう対応していきます。

護 者 へ の 説 明 等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	40	2	0	2	・助言はいただいていませんが、子どもへの支援はしていただいていると思います。	お子様への支援の他、ご家庭でできることや子育てのお悩み等に寄り添えるよう、努めています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	40	3	0	1		保護者の方への共感、またお悩みに寄り添った対応ができるように対応していきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	24	6	5	9	・きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会がないので、そのような機会を増やしてほしいです。 ・企画はされているが、いつも勤務日と重なり参加できていない。早めにお知らせが欲しい。	小集団イベントは今後も開催していきますので、定員がある為難しい場面もあるのですが、より多くの方にご参加いただけるよう、早めのお声がけができるよう対応していきます。またきょうだい児向けのイベントの開催もよりよい方法を検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	36	3	0	5	そのような体制が整備されているか、知りません。	いつでもご家庭での困りごとや学校での状況について相談していただけます。実際に利用して下さるご家庭もありますので、皆さんに周知し、対応していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	41	3	0	0		適切な情報伝達や意思の疎通が図れるよう、定期的な面談やご家庭や学校の様子など、声掛けを行っていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	28	2	0	14	・ブログ、たまに読んでます！ ・発信されていません。	ブログ読んでいただきありがとうございます。月に2回は更新していけるように校舎で努めています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	40	1	0	3		校舎自体のスペース的に密集している中で、隣の様子なども聞こえてしまうこともあると思いますが、きらり内外においての個人情報の取り扱いについては留意して対応おります。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	33	0	1	10		各マニュアルも策定しており、訓練も実施しているので、校舎内掲示の他に全体に周知できるよう努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27	2	0	15	通い始めたばかりなので、知りません。	上記の点と重なりますが、訓練も実施しているので、校舎内掲示の他に全体に周知できるよう努めます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	37	1	2	4		安全計画の周知を含め、安全に配慮した環境設定を徹底して支援にあたるよう、支援や教材、配置の工夫を徹底していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際状況等について説明がされていると思いますか。	29	1	1	13		きらりで発生した事故やケガに関しては、すぐに保護者の方にご連絡するよう対応しております。今後も、起きた場合は、すぐにお伝えできるよう、より一層対応を徹底していきます。
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	40	4	0	0	合わない職員がいて、あまり療育・支援になっていない	貴重なご意見ありがとうございます。職員一同、お子様への対応や支援についても日々試行錯誤をしております。安心感を持って通うことができるよう、職員一同で対応して参りますのでよろしくお願いします。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	27	14	3	0	・外出を避ける傾向があるため、行き渋りがあります。 ・私たち親子にとって、大切な居場所です。これからもお世話になります。 ・下校後30分後の曜日は行き渋る ・基本楽しみにしていますが勉強を嫌がることがあります。	・学習があるとなかなか気が重くなることもありますが、きらりに来ることが楽しいと思えるよう、職員一同、環境設定から支援までしっかりと対応していければと思います。 ・温かい言葉ありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。
	29	事業所の支援に満足していますか。	40	4	0	0	・いつもありがとうございます。 ・ありがとうございます。	こちらこそいつもありがとうございます。今後も精進して参りますので引き続きよろしくお願いいたします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室きらり戸田校					公表日	2026 年 2 月 14 日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		限られた空間を最大限に活かし、工夫をしながら使用している。完全個室でない事、隣のブースとも近く音が漏れやすい為、気が散りやすいお子さんもいる。ブース内の位置などを変えたりして配慮に努めています。	狭いことも踏まえ、パーティションや椅子の配置やそもその数なども検討していき対応を行っていく。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		人員はもう少し多く配置されているといいなと思うが、現在の人員でも運営ができるように負担感を考慮した業務分担をしています。	配置規定数は満たしているが、もう少し大人の目があるとよい。現在も工夫しているが、補填できるよう努めていく。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	階段が急だったり、トイレ前の段差の高さもあったり、エレベーターが無いなどはあるが、安全に配慮しての声掛けは行いつつ、利用者の方々にもご協力いただいています。	建物の構造上、変更が難しい点もあるが、手すりを付けるなどの対応を管理人さんが行ってくれたので、今後できる限りの配慮を行っていく。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃、消毒に加え、壁紙の張替えも定期的に行うなどして工夫しています。	こどもが過ごす空間としての清潔さはもちろんのこと、感染症対策や、居心地の良さを考慮した配置の設定などを今後も検討していく。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		完全個室とまではいかずとも、パーティションで場所を区切ることで、クールダウンのスペースを設ける工夫は行っています。	部屋の狭さもあり、十分なスペースとまではいかないこともあるが、こどもの特性に合わせて、安全を考慮した場所を提供できるよう引き続き対応を行っていく。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		職員間で活発に話し合う時間を設けて、情報の共有ができるようにしています。	状況共有をしっかりと記録に残し、共有だけでなく、きちんと業務に活かしていけるように今後も対応していく。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		いただいたアンケートをもとに事業所評価会議を開き、改善点についての話し合いを行っています。	貴重な意見としていただいているので、しっかりと反映することができるよう改善点を具体的な対策に落とし込んで実行していきます。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		1on1を月1回で開催し、一人ひとりからのヒアリングを行っているのと、随時、話し合う機会を設けています。	話しを聞き、改善できるところはなるべく早く改善できるように努めてきたので、引き続き業務改善に向けて今後も対応していく。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		現在は、社内での他校舎の指導員やユニット長やブロック長から評価を行っていただいています。	今後は、必要に応じた外部評価を実施していく。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		発達支援研究所の研修や、法定研修に参加する機会が確保されています。					
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムはHPにて公開済み。					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		モニタリング、アセスメントを半年ごとに行い、適切に計画を作成しています。					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		指導員の意見も反映される仕組みをとっています。					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		常に計画を意識した支援を行うように教材の選定や支援を行うようにしています。	支援計画に沿った支援ができているかどうかのプログラムや支援や関わりを含めて、職員間で検討し、対応をしていく仕組みを徹底していきます。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		社内共通のアセスメントシートを使用しています。					

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		個別支援計画の中で、5領域を支援内容に含めた目標を設定し、具体的な支援内容が伝わるように計画を立てています。	移行支援や地域支援・地域連携支援に関しては保護者の意向やご要望にあわせて対応していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		個別支援計画をもとにし、専門職の指導員も含めて指導員間で検討しています。	職員間での柔軟な連携、仕組み化をして、よりよい活動プログラムの立案を目指します。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		利用者によっては、同じプログラムを繰り返し行っていくことが必要な方もいらっしゃいますが、支援目標に合わせつつニーズに沿った対応ができるようにしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		月1～2回で小集団イベントを開催しています。	なるべく多くの方が参加できるよう早めの周知に努めます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝、朝礼を行い、1日の流れや前日の振り返りを行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		最終の時間の後にはできないこともあるが、翌日の朝礼で情報共有は行っている。基本的には、その日のうちに職員間で振り返って、支援の検討を行っている。	最終枠の支援終了時に連絡事項に抜け漏れがないように職員間での共有は徹底していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援記録の記載は徹底し、支援の改善に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		最低でも半年に1回は保護者と対面でモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		児発管や対応できる指導員が参加して、対応しています。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		保育園、幼稚園、小学校との連携はおこなっていますが、現在、医療機関との連携は行えていません。	今後、医療機関とも連携を取ることも視野にいれ、対応をしています。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		保育園、幼稚園とは保護者のご希望があった場合は必ず対応し、こちらから連携を依頼する場合もあり、必要な家庭には相互に情報共有を行っています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		連携のご希望があった小学校の先生との連携は取っています。	今後は医療機関との連携も視野にいれて対応していきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		年間行事計画を把握しております。また、下校時刻の確認をし支援時間の調整も行っております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		現在はご希望が無いため、就学前の園との連携は取れていません。	連携のご希望がありましたら対応できるような体制を整えていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		必要に応じて、障害福祉サービス事業所から情報提供の依頼があった場合に対応しております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		現在、児童発達センターとの連携ははかれておりません。	今後は児童発達センターとの連携を検討しているので、助言等をいただける機会を設けていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		現在は個別療育ということもあり、地域のこどもとの活動や交流を行っておりません。	ご希望やニーズが増えてきた場合、よりよい機会になるよう適切に対応できるよう検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		市内で行われている協議会に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		フィードバック時に、お家での様子や園での様子などでもできる限りヒアリングさせて頂いております。	時間に限りがあるので、支援の共有で終わってしまうことがほとんどではあるので、園や家庭の様子で気になることなどもヒアリングして行けるよう努めます。

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		パパママカフェの開催をしております。	
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時や個別支援計画更新の際に重要事項説明書とあわせて説明をさせていただいております。	運営規定に関しては、随時、教室に掲示させていただいております。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		支援計画作成の際に、保護者からのニーズとこどもの現在から必要な支援を踏まえた計画を作成し、確認をさせていただいております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		内容を説明させていただき、署名をいただいております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じて保護者の方からの要望があった場合、支援以外の時間で別途面談や相談の時間を設けて対応しています。	より、気軽に相談をしていただけるよう周知をしています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		現在ではパパママカフェや面談やモニタリング以外の保護者会やきょうだい同士のイベントは開催しておりません。	きょうだいのイベントに際しては、ニーズが高まった際に、よりよい形で導入できるよう相談・検討します。パパママカフェの周知を行います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		ご要望があった際には、いつでも相談ができる体制は整えております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ブログとインスタグラムでの支援の様子の発信を行っております。	ブログの更新が止まっていた時期がありましたが定期的に更新を行っているので、周知していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いに関しては法令に則り十分に配慮して対応しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子さんの特性に合わせた意思疎通の方法を工夫して対応しています。	
非 常 時 等 の 対 応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	個別療育の為、行っておりません。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを策定し、毎月訓練を行っております。	教室内に、掲示周知を行っていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画の内容に沿った訓練を定期的に行っております。	教室内に、訓練の様子を掲示しております。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		面談時やアセスメントの際に状況を把握させていただいております。	投薬の情報や対応の方法についても随時ヒアリングを行っておりますが、情報提供にご協力いただけるようにこちらからも変更等の確認をしています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	食事の提供はないので、指示書の対応はしておりますが、把握はしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定し、必要に応じた社内研修への参加、事業所内での訓練を行っております。	指導員間でも常に安全管理を徹底して支援に当たるよう、環境調整等の配慮をしています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		緊急連絡先一覧の作成、ダイヤル171の導入等行っております。	事業所内に、掲示し、周知を行っていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットを作成・共有し、再発防止に向けた検討をしております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待・身体拘束に関しての社内法定研修への参加をしております。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時に身体拘束が必要な場合についての対応について説明させていただいています。また社内研修にも参加しております。	措置が必要となった場合の適切な対応を指導員間でも徹底してまいります。